

議報告第4号

議会改革に関する調査研究について

議会改革特別委員会の調査研究結果について別紙写しのとおり報告する。

令和8年3月24日報告

郡上市議会議長 森 藤 文 男

郡上市議会 議会改革特別委員会報告書

本特別委員会は、議会改革に関する調査研究を付託事項として、令和6年6月28日に設置されたものであり、これまでの委員会活動及び調査研究結果について報告します。

1 委員会構成

- 委員長 田中 義久 委員
副委員長 有井 弥生 委員
委員 原 喜与美 委員 ・ 長岡 文男 委員 ・ 本田 教治 委員
池戸 郁夫 委員 ・ 池田 源則 委員 ・ 蓑島 正人 委員

2 議会改革特別委員会での検討項目

2年間の委員会活動で取り組むべき課題を次の3項目とした

- (1) 議員定数の調査研究
- (2) 議選監査委員の調査研究
- (3) 議会基本条例の検証

3 委員会開催状況

令和6年6月28日 令和6年第3回郡上市議会定例会（第5日目）

- ・ 議会改革特別委員会の設置、委員の選任を行った。
委員：長岡文男、原喜与美、本田教治、田中義久、池戸郁夫、池田源則、
蓑島正人、有井弥生、以上8名

令和6年6月28日 令和6年度第1回議会改革特別委員会

- ・ 正副委員長の互選を行った。
委員長：田中義久、副委員長：有井弥生

令和6年7月22日 令和6年度第2回議会改革特別委員会

- ・ 委員会設置の背景や目的、今後のスケジュールを確認し、調査研究内容を決定した。

令和6年8月26日 先進地視察研修

- ・ 次期改選時に定数の削減を決定している岐阜県瑞浪市議会に視察研修を行った。
研修では定数見直しの決定基準や市民の意見反映の方法、定数変更後の影響等について講義を受け意見交換を行った。

令和6年9月26日 特別講演会

- ・ 全議員を対象に、議員の役割や、議員定数の考え方について、今井良幸氏（中京

大学総合政策学部長) から講義を受けた後、郡上市議会基本条例の精神について、上田謙市氏(元郡上市議会議員 議会行政改革特別委員長) に講演いただいた。また、瑞浪市議会視察研修の成果について報告を行った。

令和6年9月26日 令和6年度第3回議会改革特別委員会

- ・ 議員定数の現状を把握するため、県下21市の情報を調査し、全国の類似団体との比較分析を行った。

令和6年11月11日 令和6年度第4回議会改革特別委員会(意見交換会)

- ・ 議員定数について、自治会連合会支部長(7地域)との意見交換会を実施した。

令和6年12月11日 令和6年度第5回議会改革特別委員会

- ・ 現議選監査委員及び元議選監査委員より、監査業務の実情と今後の在り方や、見直し検討すべきか等のご意見を伺った。
- ・ 議員定数について委員間で議論を行った。

令和7年1月27日 令和7年第1回議会改革特別委員会

- ・ 現識見監査委員及び元識見監査委員より、監査業務の実情と今後の在り方や、見直し検討すべきか等のご意見を伺った。
- ・ 議員定数に関するアンケート調査について、内容と進め方について協議した。

令和7年2月21日 令和7年第2回議会改革特別委員会(意見交換会)

- ・ 議員定数について、地域協議会長(7地域)との意見交換会を実施した。
- ・ 議員定数に関する市民アンケートの実施方法、内容について協議を行った。

令和7年3月17日 令和7年第3回議会改革特別委員会

- ・ 中間報告のとりまとめを行った。
- ・ 議員定数に関する市民アンケートの内容等について協議決定した。

令和7年3月21日 令和7年第3回議会運営委員会

- ・ これまでの協議経過等の中間報告を行った。

令和7年5月21日 令和7年第4回議会改革特別委員会

- ・ 議選監査委員の現状を把握するため、県下21市の情報を調査し、方針について協議した。県下で唯一議選監査委員を設置していない、下呂市議会への現地調査実施を決定した。

令和7年6月25日 令和7年第5回議会改革特別委員会(意見交換会)

- ・ 議員定数について、若者を中心とする団体との意見交換会を実施した。

- ・ 議員定数に関する市民アンケートまとめ、議選監査委員に関する現地調査のワーキンググループを設置することを決定した。

議選監査委員WG：田中委員長、原委員、池戸委員、蓑島委員

市民アンケートWG：有井副委員長、長岡委員、本田委員、池田委員

令和7年6月27日 下呂市調査（議選監査委員について）

- ・ 下呂市議会議長及び監査委員事務局から議選監査委員を設置しない経緯、その影響などについて調査を行った。

令和7年7月23日 令和7年第6回議会改革特別委員会

- ・ 議員定数及び委員会構成について委員間で討議を行った。
- ・ 議選監査委員に関する現地調査結果について報告した。

令和7年9月16日 令和7年第7回議会改革特別委員会

- ・ 議員定数及び委員会構成について、前回の委員会で定数見直しのポイントとして意見のあった項目を「郡上市議会 議員定数見直しの柱」として整理し、委員間で討議を行った。

令和7年9月26日 令和7年第6回全員協議会

- ・ 議員定数の類似団体（人口、面積、財政規模）との比較による試算値、市内各種団体との意見交換会及び市民アンケートの結果の調査結果を基に、「郡上市議会 議員定数見直しの柱」について説明し、現職議員の意見聴取を行った。

令和7年10月20日 令和7年第8回議会改革特別委員会

- ・ 議員定数に加え、関連事項として委員会構成、議員報酬等の方針決定に向けて委員間で討議を行い、委員会として議員定数を15人（3人減）とすること等の方針を決定した。また、市民アンケート結果を「議会だより」、「郡上市ホームページ」で公表（11月1日から）するため、内容の確認を行った。

令和7年11月19日 令和7年第9回議会改革特別委員会

- ・ 議選監査委員について委員間討議を行い、これまで通り議選監査委員を選出する方針を決定した。
- ・ 議員定数の方針決定に関する報告書の確認を行った。

令和7年12月19日 令和7年第8回全員協議会（議員との意見交換）

- ・ 「郡上市議会 議員定数見直しの柱」を基に、委員会の方針を「議員定数15人（3人減）」に全会一致で決定したことを説明し、現職議員の間で意見聴取を行った。

令和8年2月12日 令和8年第1回議会改革特別委員会

- ・ 議会基本条例に定める目的達成に向け実施される議会活動の検証を行った。
- ・ 委員会で取り組んできた調査結果をとりまとめた報告書案の確認を行い、条例改正等の今後のスケジュールの確認を行った。

令和8年2月19日 令和8年第2回全員協議会

- ・ 議会改革特別委員会の最終報告の概要について説明した。
- ・ 郡上市議会議員定数条例の一部改正について、令和8年第2回定例会最終日に委員長提案により追加上程することを説明した。

4 主な取り組み結果

(1) 議員定数について

議会運営の根幹をなす議員定数は、郡上市議会の最高規範である郡上市議会基本条例を尊重し、同条例第22条第2項に定める「議員定数の改正に当たっては、本条例の趣旨にのっとり、人口、面積、市政の現状及び課題並びに将来の予測及び展望を考慮するとともに、市民の代表である議会が市民の多様な意思等を市政に反映させることが可能な人数となるよう定めます。」に基づき調査研究を行った。市民アンケートの結果や、各種団体との意見交換会等による市民意見を把握し、全国市議会の類似団体及び県下市議会の情報を調査した。これら資料を参考に委員討議を踏まえ、「定数削減は避けられないが、議員活動の質を高める必要がある」という方向性を確認したうえで、議員定数を次期選挙（令和10年4月任期満了）より15人とすることに決定した。

また、常任委員会の構成を2常任委員会とすること、議員のなり手不足解消に向けた議員報酬の見直しを市長諮問・報酬審議会答申に委ねつつ、委員会活動の充実に向けた「委員長手当」の創設、議員の資質向上等に向けた「政務活動費」の引上げや、若者・女性の立候補促進に向けた体制整備を検討課題とすることとした。

(2) 議選監査委員について

平成29年6月9日に公布された地方自治法等の一部を改正する法律により、監査制度については、監査委員による監査基準の設定、勧告制度の創設、監査専門委員の創設等、監査制度の充実強化に向けた見直しを実施された。その中で、議員のうちから選出する監査委員（議選監査委員）の選任の義務付けが緩和され、議選監査委員については、各自治体の判断により必ずしも選任しなくてもよいことに変更されていることから、本市の現状を踏まえ、その必要性について調査研究を行った。

識見監査委員は、市の財務管理や事業の経営管理に視点を置いた監査である一方、議選監査委員は、議員として予算をはじめとする各種議案審議等を経て、市の事業や政策を十分把握した上で監査を行うことができる。また、住民代表としての視点から監査に臨むことができる。このため、それぞれの視点や知見の違いを生かした、より厳正かつ的確な監査を行うことが可能であることから、引き続き議選監査委員の選任は必要と考え継続することに決定した。

(3) 議会基本条例について

基本条例に定める目的の達成に向け実施される議会活動の検証を行った。基本理念及び基本方針に基づき、以下の議会活動について検証を行った。

- ① 議会活動を市民に対して説明する責務を有するため、積極的に情報の公開を図るとともに、市民が参画しやすい開かれた議会運営に向け、議会だよりの発行、議会報告会を引き続き実施するとともに、主権者教育の取り組みについて充実を図る。
- ② 議会の本来の機能である政策決定並びに市長等の事務の執行について監視及び評価に向けて、現在実施している行政評価（事務事業点検）は、決算認定後の事業評価となっており、活動の意義が形骸化していると考えられることから、いったん見送ることとし、それぞれの議員が決算認定特別委員会ですっかりと審査の上、事業評価ができる仕組みを検討する。
- ③ 提出された議案の審議又は審査を行うほか、独自の政策提言や政策立案に向け、適正な時期に必要なとされる政策提言を引き続き実施する。
- ④ 地方分権の進展に的確に対応するため、議会改革を推進し他の自治体の議会との交流及び連携に向け、福井県大野市議会との友好交流協定に基づく事業等を深化させるとともに、近隣市議会との積極的な情報交換等に努め、時代に即した議会改革を推進する。

この報告書は、これまでの議員間における議論を整理し、その経過と結果を報告するものであります。議員定数の見直しに関する調査結果等をもって、本特別委員会の最終報告とします。

以上のとおり報告します。

令和8年3月24日

郡上市議会議長 森藤 文男 様

郡上市議会 議会改革特別委員会
委員長 田中 義久

郡上市議会 議員定数見直しに関する報告書

現在の議員定数18人から 15人(3人減)へ、
見直し方針を全会一致で決定

郡上市議会 議会改革特別委員会

1. 委員会設置の背景・目的

本市議会では、平成16年3月の郡上市発足以来、市民に期待され、市民に開かれた議会を目指して、常に種々の議会改革に取り組んできました。

議員定数については、合併時30人であったものを平成20年4月選挙から21人(9人減)に、平成24年4月選挙から18人(3人減)へと見直しをしてきました。こうした中、令和6年3月の選挙に際して、10年以上見直しのされていない議員定数に関して市民の皆様より様々なご意見をいただいたことを受け、同年4月の選挙後初の議会運営委員会で議員定数等について次回選挙に向けて調査研究すべきであるとの決定がなされました。

これにより、令和6年6月定例会で8人の委員をもって議会改革特別委員会が設置されました。その後、議員定数の考え方について大学教授等を講師に招き研修会を実施し、県内先進地の視察を行い、委員会を14回開催して各種団体との意見交換や市民アンケート結果の分析等を経て、委員討議を重ねてきました。その結果について報告します。

2. 市民意見の整理

各種団体との意見交換会、市民アンケートの結果において、定数削減と広報広聴活動の充実を求める声が多数寄せられました。

【自治会連合会 (R6. 11. 11)】

○議員定数について

- ・ 14人(八幡、和良)、16人(高鷲)に減らすのが妥当ではないか。
- ・ 定数は削減し、その分で議員報酬のアップに充てる。具体的には3人から4人の削減を提案。(大和)
- ・ 削減のみを論じるのではなく、人口や面積の類似規模団体との比較、財

- 政状況を考慮することが重要である。議論を深めてほしい。(白鳥)
- ・ 各地域をしっかりと見回すためには、現在程度の定数が必要。(美並)
- ・ 人口の減少を考慮し、財政面での見直しも必要ではあるが、少数意見の反映も考えてほしい。(明宝)
- 議員活動が見えない
 - ・ 市民には議員の活動が伝わっていない。(美並、和良)
 - ・ 議会だよりでは不十分で、傍聴にもなかなか行けない。(和良)
- 議員の資質と意欲
 - ・ 議員が得る報酬に対して地域貢献への意欲が疑問視されている。(八幡)
 - ・ 議員の資質に対する不安が強い。(八幡)
- 市民とのコミュニケーション
 - ・ 議員と語ろう会に自治会長は多く参加するが、一般市民の参加が少なく、意見が少ない。(大和)
 - ・ 地域の問題への議員の認知度が低いと感じられる。(大和)
- 行政の対応と住民の反応
 - ・ 行政側に対する議員の対応が住民の不安を増加させている。(白鳥)
 - ・ 新人議員の認識不足と説明責任の未履行が問題視されている。(白鳥)
- 世代間の関心の差
 - ・ 若い世代の地域活動への参加が期待されている。SNS を通じて議員活動の発信はあるものの、高齢者へ届きにくい状況がある。(高鷲)
 - ・ 議員活動と住民要望の間にギャップが存在する。(明宝)

【地域協議会 (R7.2.21)】

- 議員定数について
 - ・ 議員は定数の在り方を外部の意向に左右されず、内部で協議して市民へ説明することが重要である。(八幡、大和)
 - ・ 一地域に7人の議員は多すぎるという意見がある。(白鳥)
 - ・ 定数を少なく報酬を多くして、勉強してもらいたい。(高鷲)
 - ・ 他市と比べて(財政面、人口規模等)、客観的にデータで判断(=削減)せざるを得ない。(美並)
 - ・ 人口減少に合わせて定数を減らして良いと思う。(明宝)
 - ・ 今後、定数が減ってくると、八幡、白鳥、大和などの密集地だけしか議員が出せなくなる心配がある。(和良)
- 議員活動について
 - ・ 議員の顔ぶれが変わり勉強していると感じている。また、郡上市がどこに向かっているのかが重要な課題であると考えている。(八幡)
 - ・ 議員は大変な仕事であり、地域の課題に取り組んで一生懸命活動していると評価している。(大和)

- ・ 議員は選挙を経て出てきた意欲的な方々であり、報酬に見合う仕事をすることが求められるとしながらも、一般市民との接点が少なく、分からないことが多い。(和良)
 - ・ 議員が何をしているのかが市民にとって分かりづらい部分があり、議会以外の場でも勉強することが大事である。また、個々の議員が持つテーマについての話が聞きたい。(高鷲)
 - ・ 議員の活動を実際に感じることは少ないと感じている。(美並)
- 議員とのコミュニケーションについて
- ・ 議員と語ろう会は、硬いイメージがあるが以前の軽い雰囲気での会話が非常に良い意見を引き出したと思う。また、若い世代との距離が近く感じられるようになることが重要である。(明宝)

【若者意見交換会 (R7.6.25)】

- 議員定数について
 - ・ 「定数削減一辺倒ではなく、立候補者を増やす仕組みの議論」が必要。
- 議員報酬の問題
 - ・ 議員の報酬が見直されることで、若者や子育て世代が議員に挑戦しやすくなる可能性がある。
- 情報の透明性と共有
 - ・ 議会の活動や財政状況の理解が必要であるが、情報をキャッチできない。
- 世代間・性別の多様性
 - ・ 議会における若者や女性の参画不足が指摘されている。多様性を求める。
- 議員活動の評価
 - ・ 議員の活動をどのように評価し、市民に伝えるかが難しい。
- 情報発信の工夫
 - ・ SNSなどを活用し、市民への定期的な情報提供が求められる。

○市民アンケートの実施

郡上市全戸に対して「議員定数等に関する市民アンケート」を実施（議会だより第84号／5月発行に挟込）し、市民の議員定数に関する意向の把握に努めました。その結果については以下のとおりです。

- ・ 回答数 437 件（有効 430 件）
- ・ この内、353 件（82%）が「定数を減らした方がよい」と回答。
- ・ 「3 人減」が 157 人（46%）で最多、次いで「2 人減」56 人（16%）、「4 人以上減」も一定数あり。

- ・ 減らした方がよい主な理由には、「人口減少」、「財政難」、「経費節減」、「活動が見えない」等の意見。

3. 議員定数の現状調査・分析

人口、市域（可住地面積）、財政規模などの類似団体の現状を踏まえた本市議会の適正規模の試算を調査した。

○全国 815 市議会の人口段階にみた市議会議員の定数	
・ 人口 5 万人未満（303 市） 平均値（全国市議会議長会 R5. 12. 31 時点）	16.5 人
○県下 21 市議会の人口段階にみた市議会議員の定数	
・ 人口 5 万人未満（10 市） 平均値	15.5 人
○郡上市議会の議員定数に関する試算値	
① 県下 21 市の議員 1 人当たり人口平均を考慮した試算値	10.9 人
② 県下 21 市の市域（可住地）面積を考慮した試算値	13.0 人
③ 県下 21 市の令和 6 年度一般会計予算を考慮した試算値	14.8 人
○上記の平均値及び試算値の平均	
・ 合計 70.7 人 / 5 =	14.1 人

【試算値の解説資料】

① 県下 21 市の議員 1 人当たりの人口平均から試算した郡上市の定数

$$37,328 \text{ 人} \times 1 \div 3,426 \text{ 人} \times 2 = 10.9 \text{ 人}$$

※ 1 : 郡上市人口 (R7. 4. 1 時点、住民基本台帳)

※ 2 : 県下 21 市の議員 1 人当たり平均人口

(参考 1) 郡上市の人口と議員定数の推移

年 (西暦) 各年 4. 1 時点	郡上市の人口 (人)	議員定数 (人)	議員 1 人当たり 人口 (人)
平成 16 年 (2002)	49,719	30	1,657
平成 20 年 (2008)	47,823	21	2,277
平成 24 年 (2012)	45,537	18	2,530
令和 7 年 (2025)	37,328	18	2,074

(参考1) 県下21市の議員1人当たりの人口平均

年(西暦) 各年4.1時点	県下21市の人口 (人)	議員定数 (人)	議員1人当たり 人口(人)
令和7年(2025)	1,595,211	401	3,426

※ 郡上市議会議員1人当たり人口2,074人、岐阜県21市の平均は3,426人で、明らかに議員定数が多い現状と言える。

※ 県下21市の議員1人当たり人口は、加重平均により算出する。

② 県下21市の議員1人当たりの人口平均に可住地面積を考慮した試算値

$$10.9 \text{人} \times 3 \times 1.42 \times 4 = 15.5 \text{人}$$

※3: 人口平均に基づく試算値

※4: 可住地面積を考慮した補正係数

(参考2) 可住地面積を考慮した補正係数の考え方

区分	総面積 (k m ²)	可住地面積 (k m ²)	議員1人当たりの 面積(k m ²)	補正係数
県下21市	8,455.13	1,703.19	4.16	—
郡上市	1,030.75	106.19	5.90	—
※議員1人当たりの補正係数=郡上市/県下21市				1.42

可住地面積を考慮した試算値と、現在定数の比較結果からの調整

$$15.5 \text{人} \times 5 \times 83.9\% \times 6 = 13.0 \text{人}$$

※5: 補正後の試算値

※6: 高山市、下呂市の比率平均値

(参考3) 可住地面積を考慮した試算値が、現在定数以上となった自治体

区分	現在定数 (人)	補正後定数 (人)	現在定数 との比較(人)	補正係数
高山市	24	29.71	△5.71	80.78%
下呂市	14	16.08	△2.08	87.06%
※県下21市中、「高山市」「下呂市」は補正後の試算値以内の現在定数面積補正による試算値以内で運営される市議会の実態を踏まえて再調整				

③ 県下21市の議員1人当たり一般会計予算の平均に対する試算値

$$27,017 \text{百万円} \times 7 \div 1,820 \text{百万円} \times 8 = 14.8 \text{人}$$

※7: 郡上市の予算額

※8: 県下21市の議員1人当たり平均予算

(参考4) 令和6年度一般会計予算に対する議員1人当たりの平均予算

自治体名	一般会計予算 (百万円)	議員定数 (人)	議員1人当たり 予算(百万円)
岐阜市	186,928	38	4,919
大垣市	63,591	22	2,891
各務原市	63,650	24	2,652
高山市	61,905	24	2,579
多治見市	45,963	21	2,189
中津川市	45,140	21	2,150
関市	43,864	22	1,994
下呂市	23,559	14	1,683
恵那市	29,800	18	1,656
可児市	34,968	22	1,589
郡上市	27,017	18	1,501
美濃加茂市	23,805	16	1,488
土岐市	25,529	18	1,418
飛騨市	19,288	14	1,378
羽島市	24,664	18	1,370
本巣市	19,720	16	1,233
瑞穂市	21,770	18	1,209
瑞浪市	19,030	16	1,189
海津市	17,628	15	1,175
山県市	15,100	13	1,162
美濃市	10,396	13	800
平均	39,205	19.10	1,820

4. 委員会討議の概要(R7.10.20 第8回特別委員会)

意見交換会及び市民アンケート結果に加え、これまで調査を行ってきた全国又は県下市議会における議員定数等のデータを踏まえ、委員間で「議員定数見直しの柱」を設定するとともに討議を行った。

【議員定数見直しの柱】

- ① 人口、市域（可住地面積）、財政規模、また市政の課題等の要素を考慮し、市民の声を反映できる郡上市議会の運営に必要な定数を決定する。
- ② 平成 24 年に移行した現行の大選挙区制については、市政の議事等に参与する市議会の立場を自覚し、小選挙区へ戻すような発想はしない。
- ③ アンケート結果は絶対視するものではなく、参考資料として尊重する。
- ④ 自治会や地域協議会等との意見交換会における意見も同じく参考意見として尊重する。
- ⑤ 議員定数は、奇数・偶数にこだわらないものとする。
- ⑥ 常任委員会の所管事務や委員数については予め試案を作る。
（文教民生常任委員会の経緯を踏まえ、1 委員会 5 人では少ない認識。）
- ⑦ 議員報酬は、市長からの諮問と審議会の答申にゆだねる。ただし、意見はできる限り集約する。
- ⑧ 議員定数の削減が、議会費の予算削減に一定の効果をもたらすことも視点とする。（例：4 人×638 万円＝2,552 万円 ※議会費（171,717 千円）の 14.8%を占める削減となる。）
- ⑨ 国勢調査における人口推計値を勘案する。（人口速報集計・翌年 5 月末、予想値 35,000 人程度）

○定数の方向性

- ・ 多くの委員が「15 人案」を支持。根拠として「人口減少に伴う合理性」「財政削減に対応する」「広域合併市域面積 1,030 k m²を考慮し試算値にプラス 1 人を確保する 15 人が妥当」「市民アンケートで最も多かった回答は 15 人」などの意見があった。
- ・ 一部委員からは「14 人でも可能」との意見も出された。

○委員会構成

- ・ 現行の 3 常任委員会を 2 常任委員会に集約する案が支持された。

- ・ 少人数で委員会を運営する場合、議員一人当たりの負担が増え、十分な議論に至らない恐れがあるため、委員会の効率性と責任分担を考慮して「2 常任委員会」が妥当とした。
- ・ 委員会構成の細部（議長の兼務扱い、オブザーバー扱いの適用範囲、所管の分け方など）は、市の組織再編により調整が必要になるため、今後の動向を注視し対応することとした。

○議員報酬・活動環境

- ・ 定数削減に伴い、議員一人当たりの業務量が増加することが予想されるため、報酬改善を附帯意見として検討すべきとの意見が複数出された。
- ・ 特に「若者や女性が立候補しやすい環境を整えるためには、報酬や活動費の改善が不可欠」との指摘があり、子育て支援金や委員長手当、政務活動費の引き上げなどが議論された。
- ・ 議員報酬そのものを増額すべきとの意見も出された。
- ・ 誰もが立候補しやすい環境を整えるため、選挙公営制度等の導入が必要との意見があった。
- ・ 一部委員からは「報酬改善がなければ人材確保は難しい」との強い意見も出ました。

この討議を通じて、委員会として「定数削減は避けられないが、議員活動の質を高める必要がある」という方向性が確認された。

5. 最終方針

以上の市民意見と委員会討議を踏まえ、議会改革特別委員会として全会一致で次の方針を取りまとめた。

- ・ **定数**：次期選挙（令和 10 年 4 月任期満了）より **15 人**とする。
- ・ **常任委員会構成**：2 常任委員会とする。
- ・ **報酬等**：市長諮問・報酬審議会答申に委ねつつ、付帯意見として「子育て支援金創設」「委員長手当創設」「政務活動費引き上げ」等を検討課題とする。
- ・ **課題の継続**：若者・女性の立候補促進、情報発信強化（議会活動の見える化）を継続課題とする。

参考資料

- ・ 議員定数の試算基礎資料（人口・面積・財政規模による分析）
- ・ 岐阜県下 21 市議員定数の現状（常任委員会の設置状況）
- ・ 議員定数等に関するアンケート調査結果
- ・ 議会改革特別委員会 活動実績

議員定数の試算基礎資料（県下21市）

No.	市	合併	議員定数 (R7.4.1)	住民基本台帳人口（人）					国勢調査人口（人）					面積				面積（補正後）			財政	
				R7.4.1 人口	R2.4.1 人口	比較増減 (R2→7) c-b	比較割合 (R2→7) b/c	議員1人 当たり 人口 b/a	【試算値】 R7.10.1 人口 e*h	R2.10.1 人口	H27.10.1 人口	比較増減 (R2→7) h-g	比較割合 (R2→7) h/i	総面積 (km ²)	議員1人 当たり総面積 (km ² /人) l/a	可住地面積 (km ²)	議員1人当たり 可住地面積 (km ² /人) n/a	補正係数 o/4.16	議員定数 補正試算値 (人) p*10.9	現在定数と 試算値の差 (人) a-q	令和6年度 予算額 (百万円)	議員1人当たり 予算額 (百万円/人) s/a
a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t			
1	岐阜市	H18.1.1	38	397,670	407,174	-9,504	97.67	10,465	393,161	402,557	406,735	-4,178	98.97	203.60	5.36	142.96	3.76	0.90	9.85	28.15	186,928	4,919
2	大垣市	H18.3.27	22	156,488	160,485	-3,997	97.51	7,113	154,344	158,286	159,879	-1,593	99.00	206.57	9.39	97.81	4.45	1.07	11.66	10.34	63,591	2,891
3	高山市	H17.2.1	24	81,810	86,905	-5,095	94.14	3,409	79,470	84,419	89,182	-4,763	94.66	2,177.61	90.73	272.12	11.34	2.73	29.71	△ 5.71	61,905	2,579
4	多治見市	H18.1.23	21	104,381	109,816	-5,435	95.05	4,971	101,450	106,732	110,441	-3,709	96.64	91.25	4.35	46.76	2.23	.54	5.84	15.16	45,963	2,189
5	関市	H17.2.7	22	83,429	87,691	-4,262	95.14	3,792	81,138	85,283	89,153	-3,870	95.66	472.33	21.47	89.98	4.09	.98	10.71	11.29	43,864	1,994
6	中津川市	H17.2.13	21	72,952	77,919	-4,967	93.63	3,474	71,689	76,570	78,883	-2,313	97.07	676.45	32.21	146.21	6.96	1.67	18.23	2.77	45,140	2,150
7	美濃市		13	18,120	19,798	-1,678	91.52	1,394	17,616	19,247	20,760	-1,513	92.71	117.01	9.00	24.67	1.90	.46	4.98	8.02	10,396	800
8	瑞浪市		16	35,016	37,036	-2,020	94.55	2,189	35,124	37,150	38,730	-1,580	95.92	174.86	10.93	52.43	3.28	.79	8.59	7.41	19,030	1,189
9	羽島市		18	66,260	67,484	-1,224	98.19	3,681	64,458	65,649	67,337	-1,688	97.49	53.66	2.98	53.66	2.98	.72	7.81	10.19	24,664	1,370
10	恵那市	H16.10.25	18	19,925	19,879	46	100.23	1,107	47,885	47,774	51,073	-3,299	93.54	504.24	28.01	114.65	6.37	1.53	16.69	1.31	29,800	1,656
11	美濃加茂市		16	57,452	57,308	144	100.25	3,591	56,831	56,689	55,384	1,305	102.36	74.81	4.68	45.23	2.83	.68	7.41	8.59	23,805	1,488
12	土岐市		18	26,259	28,066	-1,807	93.56	1,459	51,784	55,348	57,827	-2,479	95.71	116.02	6.45	36.92	2.05	.49	5.37	12.63	25,529	1,418
13	各務原市	H16.11.1	24	143,929	147,413	-3,484	97.64	5,997	141,105	144,521	144,690	-169	99.88	87.81	3.66	69.53	2.90	.70	7.60	16.40	63,650	2,652
14	可児市		22	99,360	101,977	-2,617	97.43	4,516	97,403	99,968	98,695	1,273	101.29	87.57	3.98	53.82	2.45	.59	6.42	15.58	34,968	1,589
15	山根市	H15.4.1	13	24,620	26,795	-2,175	91.88	1,894	23,228	25,280	27,114	-1,834	93.24	221.98	17.08	35.54	2.73	.66	7.15	5.85	15,100	1,162
16	瑞穂市	H15.5.1	18	56,168	55,016	1,152	102.09	3,120	57,569	56,388	54,354	2,034	103.74	28.19	1.57	28.19	1.57	.38	4.11	13.89	21,770	1,209
17	飛騨市	H16.2.1	14	21,500	23,571	-2,071	91.21	1,536	20,558	22,538	24,696	-2,158	91.26	792.53	56.61	63.68	4.55	1.09	11.92	2.08	19,288	1,378
18	本巣市	H16.2.1	16	32,684	34,252	-1,568	95.42	2,043	31,421	32,928	33,995	-1,067	96.86	374.65	23.42	55.19	3.45	.83	9.04	6.96	19,720	1,233
19	郡上市	H16.3.1	18	37,328	40,882	-3,554	91.31	2,074	35,607	38,997	42,090	-3,093	92.65	1,030.75	57.26	106.19	5.90	1.42	15.46	2.54	27,017	1,501
20	下呂市	H16.3.1	14	28,605	31,660	-3,055	90.35	2,043	27,492	30,428	33,585	-3,157	90.60	851.21	60.80	85.93	6.14	1.48	16.08	△ 2.08	23,559	1,683
21	海津市	H17.3.28	15	31,255	34,960	-3,705	89.40	2,084	29,266	32,735	35,206	-2,471	92.98	112.03	7.47	81.72	5.45	1.31	14.28	0.72	17,628	1,175
				Ave					Ave					Ave			Ave					
				1,595,211	1,656,087	-60,876	96.32	3,426	1,618,597	1,679,487	1,719,809	-60,890	97.66	8,455.13	21.78	1,703.19	4.16				823,315	1,820

：人口5万人以下

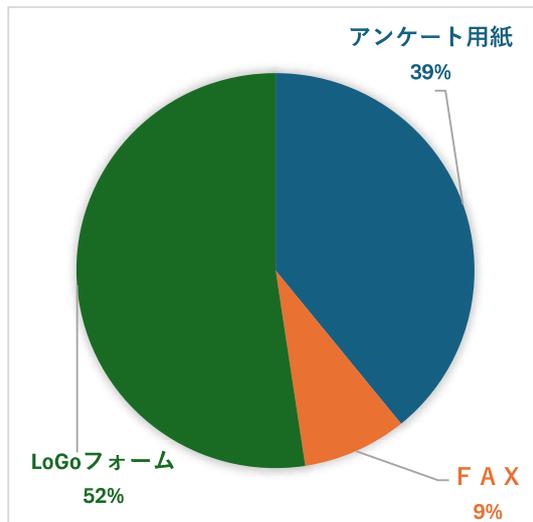
岐阜県下 2 1 市 議員定数の現状等（常任委員会の設置状況）

市	合併	R5,12,31 議員定数	地方自治法第109条第2項（常任委員会）に基づく委員会				R5,12,31 人口	R5,12,31 議員1人 当たり人 口	定数条例等の 適用年月	定数の変更 （平成18年以降）				議長報酬	副議長 報酬	議員報酬	市民一人 当たりの 月額報酬 負担額	面積				
																		総面積 【km】	議員1人 当たり総面積 【km/人】	可住面積 【km】	議員1人 当たり可住面積 【km/人】	
1 岐阜市	H18.1.1	38	総務委員会(8)	経済環境委員会(7)	厚生委員会J(8)	建設委員会(8)	文教委員会(7)	400,937	10,551	2015年4月	44人	41人(H23年)	38人(H27年)		770,000	700,000	650,000	62.0	203.60	5.36	142.96	3.76
2 大垣市	H18.3.27	22	総務環境委員会(8)	教育福祉委員会(7)	建設産業委員会(7)			158,049	7,184	2015年4月	32人	26人(H19年)	24人(H23年)	22人(H27年)	630,000	579,000	553,000	77.6	206.57	9.39	97.91	4.45
3 高山市	H17.2.1	24	総務環境委員会(8)	福祉文教委員会(8)	産業建設委員会(8)			83,264	3,469	2003年4月	36人	24人(H23年)			488,000	442,000	416,000	121.1	2,177.61	90.73	272.12	11.34
4 多治見市	H18.1.23	21	総務常任委員会(7)	経済建設常任委員会(7)	厚生環境教育常任委員会(7)			106,167	5,056	2019年4月	24人	21人(R1年)			584,000	534,000	486,000	97.5	91.25	4.35	46.76	2.23
5 関市	H17.2.7	22	総務厚生委員会J(8)	文教経済委員会(7)	建設環境委員会(7)			84,825	3,856	2023年4月	25人	23人(H27年)	22人(R5年)		480,000	440,000	416,000	108.9	472.33	21.47	89.98	4.09
6 中津川市	H17.2.13	21	総務企画委員会(7)	文教民生委員会(7)	産業建設委員会(7)	予算決算委員会(21)		74,523	3,549	2015年4月	30人	24人(H23年)	21人(H27年)		441,000	398,000	376,000	107.1	676.45	32.21	146.21	6.96
7 美濃市		13	総務産業建設常任委員会(6)	民生教育常任委員会(6)				19,272	1,482	2007年4月	15人	13人(H23年)			365,000	325,000	300,000	207.0	117.01	9.00	24.67	1.90
8 瑞浪市		16	総務厚生学教委員会(8)	地域経済建設委員会(8)	予算決算委員会(16)			35,725	2,233	2011年4月	21人	18人(H19年)	16人(H23年)	14人(R9年)	430,000	400,000	375,000	170.2	174.86	10.93	52.43	3.28
9 羽島市		18	総務委員会(6)	民生文教委員会(6)	産業建設委員会(6)			66,774	3,710	2014年10月	21人	18人(H19年)			441,750	413,250	394,250	107.3	53.66	2.98	53.66	2.98
10 恵那市	H16.10.25	18	総務文教委員会(6)	市民福祉委員会(6)	経済建設委員会(6)			46,868	2,604	2011年2月	30人	24人(H20年)	20人(H24年)	18人(H28年)	424,000	382,000	362,000	140.8	504.24	28.01	114.65	6.37
11 美濃加茂市		16	企画建設常任委員会(8)	文教民生常任委員会(8)	予算決算常任委員会(16)			57,532	3,596	2016年11月	18人	16人(H26年)			434,000	381,500	362,000	102.3	74.81	4.68	45.23	2.83
12 土岐市		18	総務常任委員会(9)	民生常任委員会(9)				54,990	3,055	2007年4月	22人	18人(H19年)			464,000	428,000	393,000	130.6	116.02	6.45	36.92	2.05
13 各務原市	H16.11.1	24	総務常任委員会(6)	民生常任委員会(6)	経済教育常任委員会(6)	建設水道常任委員会(6)		144,940	6,039	2013年2月	26人	24人(H25年)			570,000	520,000	485,000	81.1	87.81	3.66	69.53	2.90
14 可児市		22	総務企画委員会(7)	建設市民委員会(8)	教育福祉委員会(7)	予算決算委員会(20)		100,180	4,554	2007年7月	24人	22人(H19年)			480,000	425,000	400,000	88.9	87.57	3.98	53.82	2.45
15 山県市	H15.4.1	13	総務産業建設委員会(7)	厚生文教委員会(7)				25,233	1,941	2020年4月	22人	16人(H20年)	14人(H24年)	13人(R2年)	353,000	315,000	295,000	155.1	221.98	17.08	35.54	2.73
16 瑞穂市	H15.5.1	18	総務委員会(6)	産業建設委員会(6)	文教厚生委員会(6)			56,315	3,129	2016年4月	20人	19人(H24年)	18人(H28年)		385,000	330,000	308,000	100.2	28.19	1.57	28.19	1.57
17 飛騨市	H16.2.1	14	総務常任委員会(7)	産業常任委員会(6)				22,107	1,579	2016年2月	26人	17人(H20年)	14人(H28年)		370,000	300,000	270,000	176.9	792.53	56.61	63.68	4.55
18 本巣市	H16.2.1	16	総務企画委員会(6)	文教福祉委員会(6)	産業建設委員会(6)	予算決算委員会(15)		33,109	2,069	2017年9月	21人	18人(H21年)	16人(H29年)		370,000	320,000	300,000	147.7	374.65	23.42	55.19	3.45
19 郡上市	H16.3.1	18	総務常任委員会J(6)	産業建設常任委員会(6)	文教民生常任委員会(6)			38,452	2,136	2012年4月	30人	21人(H20年)	18人(H24年)		390,000	340,000	310,000	148.0	1,030.75	57.26	106.19	5.90
20 下呂市	H16.3.1	14	民生教育まちづくり常任委員会(7)	総務産業建設常任委員会(7)	予算決算常任委員会(12)			29,487	2,106	2016年4月	26人	21人(H20年)	16人(H23年)	14人(H28年)	370,000	300,000	270,000	132.6	851.21	60.90	85.93	6.14
21 海津市	H17.3.28	15	総務産業建設委員会(7)	文教民生委員会(7)				32,085	2,139	2013年9月	20人	18人(H21年)	15人(H25年)		343,000	314,000	294,000	139.6	112.03	7.47	81.72	5.45
						Ave	3,620.8							Ave	456,321.4	408,892.9	381,678.6	123.9	Ave	21.78	Ave	4.16

議員定数等に関するアンケート調査

回答方法

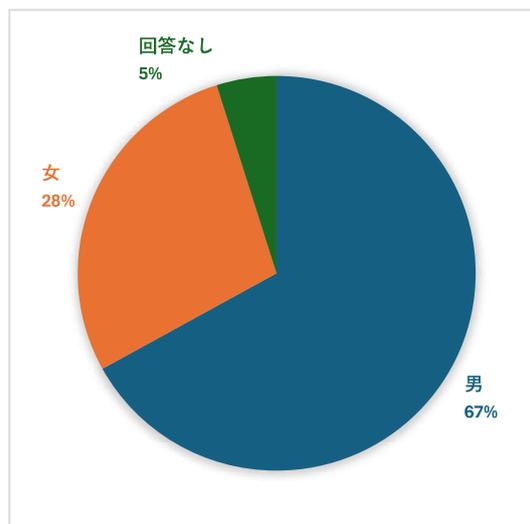
アンケート用紙	171
F A X	37
LoGoフォーム	229
計	437



<回答合計>

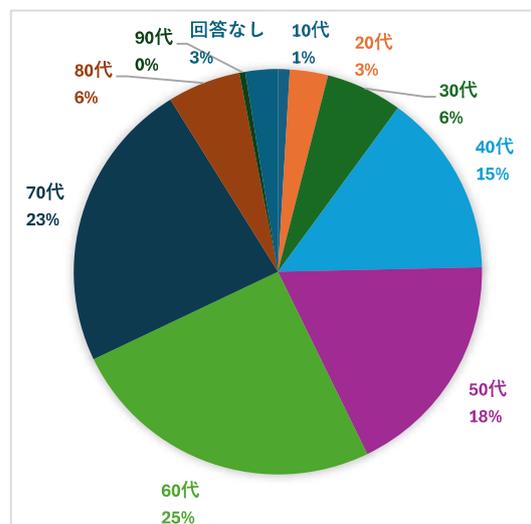
Q 1 性別

男	288
女	121
回答なし	21
計	430



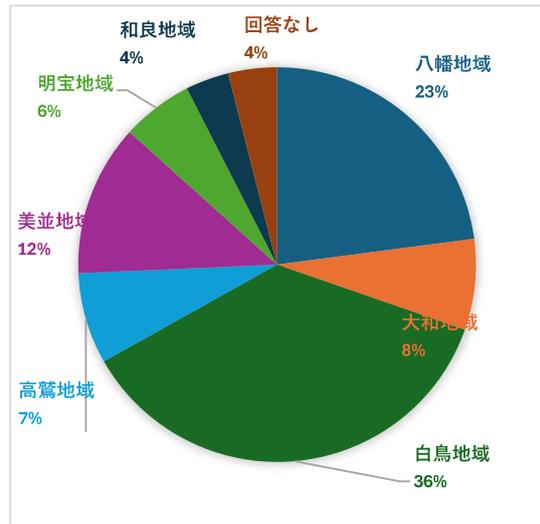
Q 2 年代

10代	4
20代	13
30代	26
40代	63
50代	78
60代	108
70代	100
80代	25
90代	2
回答なし	11
計	430



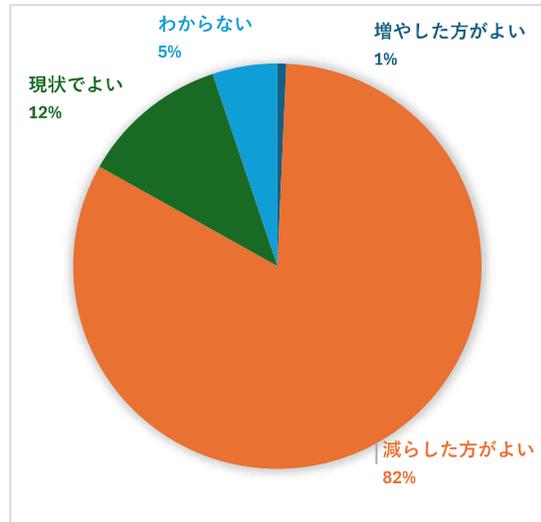
Q 3 住所地

八幡地域	98
大和地域	32
白鳥地域	156
高鷲地域	32
美並地域	53
明宝地域	25
和良地域	15
回答なし	17
計	428



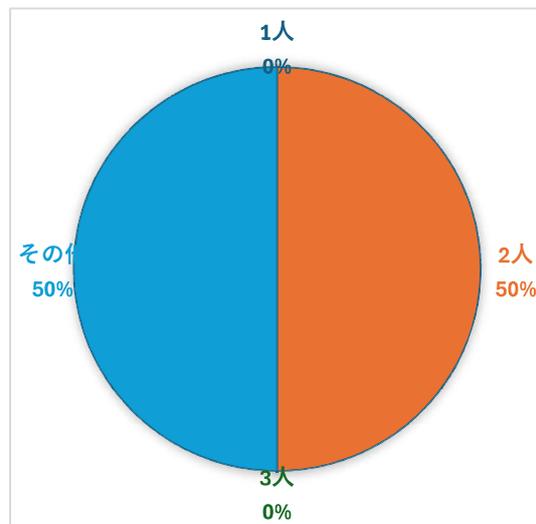
Q 4 現在の議員定数について

増やした方がよい	3
減らした方がよい	353
現状でよい	50
わからない	22
計	428



Q 5 何人の増が良いです

1人	0
2人	1
3人	0
その他	1
計	2



(その他回答)

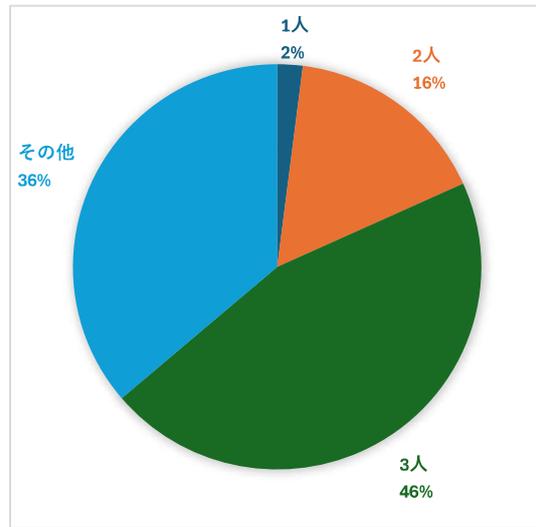
4人	
5人	
6人	
7人	
具体的人数はわからない	1

Q 6 何人の減が良いです

1人	7
2人	56
3人	157
その他	125
計	345

(その他回答)

4人	32
5人	27
6人	14
7人	1
8人	13
9人	14
10人	4
11人	5
12人	3
13人	0
14人	1

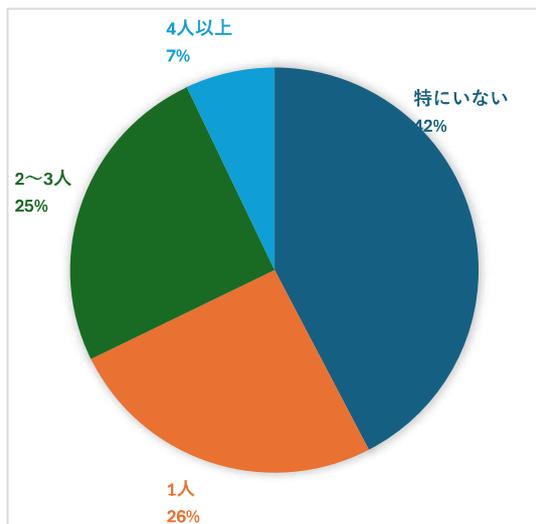


Q 7 増やす、減らす、理由は

- ・人口減少、財政難、経費節減
- ・議員活動がみえない 等
- ・増やす理由の意見なし

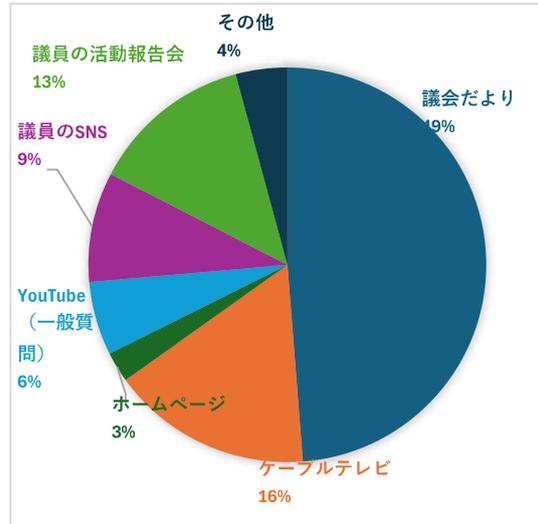
Q 8 気軽に話せる議員は

特にいない	180
1人	108
2~3人	107
4人以上	30
計	425



Q 9 議会活動をどうやって知りますか

議会だより	373
ケーブルテレビ	125
ホームページ	19
YouTube（一般質問）	46
議員のSNS	69
議員の活動報告会	101
その他	32
計	765



Q 9 「その他」の回答内容

市議会の傍聴

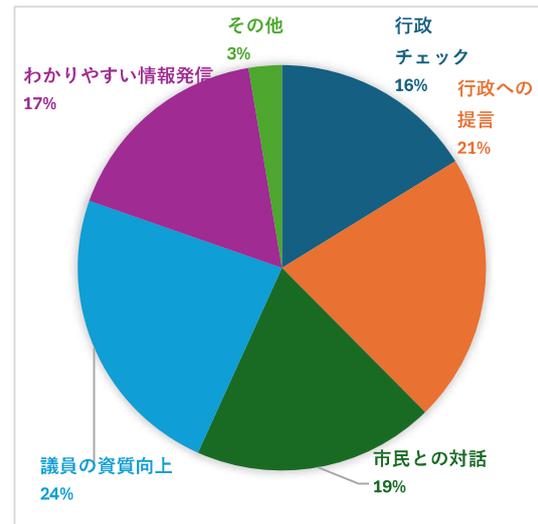
議員の活動報告書

議員本人との対話

職場での情報

Q 10 議会に期待することは

行政チェック	160
行政への提言	212
市民との対話	189
議員の資質向上	234
わかりやすい情報発信	168
その他	26
計	989



Q 10 「その他」の回答内容

- ・ ネットなどで市民の要望を聞く
- ・ 地域課題は市全体課題と共通。地域課題を持ち寄った議論
- ・ 女性議員の割合増加
- ・ 議員の立場を認識、議員としての自覚した行動
- ・ 古い資質から脱し、新しい改革
- ・ 地域限定の要望対応でなく、市全体の政策の検討
- ・ 市民の声を聞き、受け止めて、県や国に対してハッキリと物を言うこと
- ・ 過疎・高齢化が加速するため、更に市民に寄り添う市議会であってほしい
- ・ 寄り添うとはどういうことか、市議の役割とは、新人市議に教育してほしい

Q 11 その他、市議会・議員に対する意見

- ・ 市民の声を聞いてほしい
 - ・ 郡上市全体を考えてほしい
 - ・ 活動の見える化
 - ・ 資質の向上
- 等

郡上市議会改革特別委員会スケジュール (進捗管理：R8.2.12時点)

	令和6年												令和7年												令和8年		
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
◆本会議	6月定例会												3月定例会												3月定例会		
令和6年第3回定例会 (R6.6.28)	◆委員会設置																										
令和7年第1回定例会 (R7.3.24)													◆中間報告														
令和8年第1回定例会 (R8.3.24)																									◇最終報告 ◇条例改正		
◆全員協議会、議会運営委員会																											
議会運営委員会(R7.3.21)													◆中間報告														
全員協議会(R7.9.26)																									◆中間報告 (定数見直しの考え方)		
全員協議会(R7.12.19)																									◆定数方針決定にあたり意見交換		
◆議会改革特別委員会																											
1 第1回委員会 (R6.6.28)	◆正副委員長の選任																										
2 第2回委員会 (R6.7.22)	◆目的、調査内容、スケジュールの協議																										
先進地視察 (R6.8.26)	◆先進地視察研修 (瑞浪市議会)																										
特別講演会 (R6.9.26)	◆特別講演会「議員とはなにか、議員定数の考え方」中京大学 今井良幸先生																										
3 第3回委員会 (R6.9.26)	◆現状把握 (県下21市の現状、全国類似自治体との比較等)																										
4 第4回委員会・意見交換会 (R6.11.11)	◆意見交換 (自治会支部長)																										
意見交換会・事前説明 (R6.11.26)	◆事前説明 (郡上地域活性化協議会)																										
5 第5回委員会 (R6.12.11)	◆議選監査委員から意見聴取、委員間で定数等の議論																										
6 第1回委員会 (R7.1.27)	◆代表監査委員から意見聴取、アンケート協議																										
7 第2回委員会・意見交換会 (R7.2.21)	◆意見交換 (地域協議会)・アンケート協議・中間報告																										
8 第3回委員会 (R7.3.17)	◆中間報告まとめ																										
自治会各支部に説明 (R7.4~5)	※アンケート調査協力依頼 (各地域自治会長会へ)																										
9 第4回委員会 (R7.5.21)	◆議選監査委員の方針、アンケート中間報告他																										
10 第5回委員会・意見交換会 (R7.6.25)	◆意見交換⑤ (株) torch 役員																										
調査視察 (R7.6.27)	◆調査視察 (下呂市議会・監査員事務局)																										
11 第6回委員会 (R7.7.22)	◆議員定数、委員会構成等の見直し (討議)																										
12 第7回委員会 (R7.9.16)	◆議員定数、組織について (討議)																										
13 第8回委員会 (R7.10.20)	◆議員定数の具体的な人数を方針決定																										
14 第9回委員会 (R7.11.19)	◆議選監査委員の方針 (討議)																										
15 第1回委員会 (R8.2.12)																									◇基本条例の検証 ◇報告書まとめ		
▶意見交換会																											
郡上市自治会連合会	▶意見交換①																										
郡上地域協議会													▶意見交換③ (2/21)														
若年層組織 (株torch)																									▶意見交換⑤		
中間説明 (これまでに意見交換を行った各団体) → 議会だより (2025.11 No.86)																											
令和7年度自治会長 八幡													▶4/30(水) 田中委員長、本田委員														
令和7年度自治会長 大和													▶4/18(金) 池田委員 (森藤議長)														
令和7年度自治会長 白鳥													▶4/17(木) 有井副委員長、原委員														
令和7年度自治会長 高鷲													▶4/21(月) 藁島委員														
令和7年度自治会長 美並													▶5/1(木) 長岡委員														
令和7年度自治会長 明宝													▶4/16(水) 田中委員長														
令和7年度自治会長 和良													▶4/28(月) 池戸委員														
意見の調査分析																									▶意見の調査分析		
▶市民アンケート調査	R7当初 (アンケート経費)																										
アンケート内容協議													▶内容協議・決定														
アンケート実施																									▶実施準備 (議会だより他)		
アンケート回収とりまとめ																									▶アンケート回収とりまとめ		
アンケート調査分析・公表																									▶アンケート調査分析 ▶HP公表		
▶調査研究																											
調査・研究	▶特別講演会、現状把握												▶下呂市へ調査視察 (議選監査委員について)														
先進地視察	▶先進地視察研修 (瑞浪市議会)																										